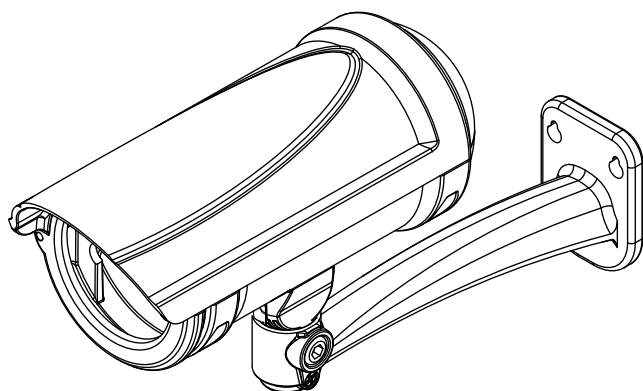




CG-NC050A 取扱説明書



Contents

お使いになる前
にお読みください

1

カメラを準備する

2

カメラにアクセス
する

3

カメラを設定する

4

はじめに

このたびは、「CG-NC050A」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<http://corega.jp/>

本商品は、PoE 対応、本格的バレット型、定点モニタリングに最適なネットワークカメラです。高解像度 HD にも対応しています。

俯瞰モニタ向けのドーム型、定点モニタ向けのバレット型をラインアップ。PoE 対応により設置の柔軟性も高くなっています。

・ 802.3af 準拠の PoE 内蔵

PoE（Power Over Ethernet）は、データ通信のイーサネットケーブルを使ってネットワーク機器の電力を供給する技術です。PoE は 2003 年 6 月に IEEE 802.3af として標準化されました。この技術を使用することで、ネットワーク機器に電力が給電でき、電源を取りにくい場所でも設置が簡単になります。電源工事が不要な為、大幅な工事費用の削減ができます。

・ 最大 30fps（※）、高解像度 HD（720p）

1/4 型カラー CMOS センサーを搭載し、720p の HD 撮影に対応。

1280×720 ピクセルの高解像度映像を最大 30fps（※）で出力でき、より高精細な映像を滑らかに撮影することができます。

※ 照明の周波数の設定が 50Hz の場合は最大 25fps となります。

・ 最大範囲 20m の IR LED 搭載

最大範囲 20m の IR LED を搭載しているため、夜間消灯時の 0Lux 環境下でも広範囲で被写体を撮影できます。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。
---	------------------------------------	---	-----------------------

■表記について

本商品	CG-NC050A のことです。
「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[]	[]で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：  → [OK]
Windows 8	Microsoft® Windows® 8 および Microsoft® Windows® 8 Pro
Windows 7	Microsoft® Windows® 7 Starter、 Microsoft® Windows® 7 Home Premium、 Microsoft® Windows® 7 Professional および Microsoft® Windows® 7 Ultimate
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows 8/7」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などについて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章 お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

■第 2 章 カメラを準備する

この章では、お使いのカメラの準備の説明をしています

■第 3 章 カメラにアクセスする

この章では、カメラへのアクセス方法の説明をしています。

■第 4 章 カメラを設定する

この章では、カメラの設定方法の説明をしています。

■付録

仕様一覧

保証と修理について

おことわり

目次

はじめに	2
本書の読み方	3
マニュアルの種類と使い方	3
本書の構成	4
目次	5
第 1 章	
お使いになる前にお読みください	7
1.1 パッケージの内容を確認する	8
1.2 各部の名称	9
1.3 機能と特長	11
1.4 動作環境	12
第 2 章	
カメラを準備する	13
2.1 カメラの機能	14
2.2 カメラの設置	16
第 3 章	
カメラにアクセスする	19
3.1 本商品のネットワーク手順	20
3.2 お使いのネットワーク環境を確認する	21
3.3 設置環境に合わせて設定し、本商品の映像を確認する	26
3.4 実際に設置する環境にカメラを接続する	35
第 4 章	
カメラを設定する	39
4.1 Web 設定を使用する	40
4.2 基本設定	41
4.3 ネットワーク設定	44
4.4 映像、音声の設定	50
4.5 イベントサーバ設定	55
4.6 モーション検知	58
4.7 イベント設定	60
4.8 GPIO	65
4.9 システムツール	66

4.10	SD カード	68
4.11	システム情報	69
付録		71
	仕様一覧	72
	保証と修理について	74
	おことわり	75

第 1 章

お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

1.1	パッケージの内容を確認する.....	8
1.2	各部の名称	9
1.3	機能と特長	11
1.4	動作環境	12

1.1 パッケージの内容を確認する

本商品をお使いになる前に、次のものが付属されていることを確認してください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- | | |
|---|--|
| ☐ CG-NC050A 本体 | ☐ スタンド |
| ☐ AC アダプタ (2 極 1.5m) | ☐ LAN ケーブル (1.8m) |
| ☐ 製品保証書 (1 年) | ☐ ネジキット (鉄) ×3 |
| ☐ ネジキット (プラスチック) ×3 | |
| ☐ 安全にお使いいただくためにお読みください | |

1.2 各部の名称

各部の名称と働きを説明します。

■ケーブル先端部



① POWER：PoE スイッチで受電をしない場合に AC アダプタを接続します。



本商品の設置の際は必ず電源を切ってください。AC アダプタを接続したり、PoE スイッチと接続したりしないでください。

② LAN 端子：ネットワークケーブル（RJ-45 型）を接続します

PoE（Power Over Ethernet）対応なので PoE 対応スイッチから受電する事ができます



- ・ 設置の際は必ず電源を切ってください。
- ・ PoE 受電する場合は、必ずカテゴリ 5 以上の LAN ケーブルをご利用ください。

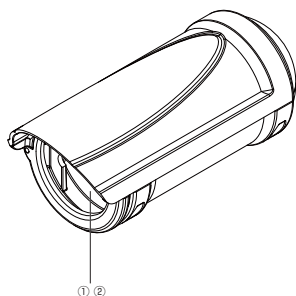
③音声入力：外部マイクを接続します。

④ GPIO コネクタ：カメラの機能を利用して GPIO コネクタに接続した別の機器の動作をさせることができます。



GPIO コネクタはサポート対象外です。

■ LED 表示



※LED はカバーの中にあります

① Power

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
橙	点灯	本商品の電源が入っている状態です。
—	消灯	本商品の電源が入っていない状態です。

② Link

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点滅	本商品がネットワーク機器と正常に接続されている状態です。
—	消灯	本商品がネットワーク機器と接続されていない状態です。



本商品（AC アダプタを含む）を弊社がマニュアル等で指示する以外の分解をしたり、改造しないでください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。

1.3 機能と特長

・ 802.3af 準拠の PoE 内蔵

PoE (Power Over Ethernet) は、データ通信用のイーサネットケーブルを使ってネットワーク機器の電力を供給する技術です。PoE は 2003 年 6 月に IEEE 802.3af として標準化されました。この技術を使用することで、ネットワーク機器に電力が給電でき、電源を取りにくい場所でも設置が簡単になります。電源工事が不要な為、大幅な工事費用の削減ができます。

・ 最大 30fps、高解像度 HD (720p)

1/4 型カラー CMOS センサーを搭載し、720p の HD 撮影に対応。1280×720 ピクセルの高解像度映像を最大 30 f p s で出力でき、より高精細な映像を滑らかに撮影することができます。

※ 本製品の照明の周波数の設定が 50Hz の場合は最大 25ftp となります

・ 最大範囲 20m の IR LED 搭載

最大範囲 20m の IR LED を搭載しているため、夜間消灯時の 0Lux 環境下でも広範囲で被写体を撮影できます。

・ H.264 ハイプロファイル / MPEG-4 シンプルプロファイル / MJPEG 対応

画質が良い JPEG に加え、画像の圧縮率が高く動画のモニタリングに適した MPEG-4 や、MPEG-4 よりさらに圧縮率の高い H.264 にも対応。

・ 音声入力対応

音声入力端子を搭載しマイクを接続できます。(市販のマイクが必要です)

・ 最大 6 倍のデジタルズーム

最大 6 倍デジタルズームを搭載し、カメラのすぐ近くの被写体から遠くの被写体までモニタリングできます。

・ 自動 ON/OFF IR LED 機能

・ VCCI クラス A 取得

1.4 動作環境

■ 対応 PC 以下の環境を満たすパソコン

対応 OS	Windows 8/7 (64bit/32bit) /Vista(32bit)/XP(32bit)/2000、Mac OS 10.7
推奨ブラウザ	Internet Explorer 6.0 以上、Safari
CPU	Pentium III 800MHz 以上
メモリ	512MB 以上
グラフィック	800x600 以上



ネットワーク内で複数のカメラを接続する場合は
より高い性能の PC を使用することをお勧めします。

第 2 章

カメラを準備する

この章では、カメラを使用する準備の説明をしています。

2.1 カメラの機能	14
2.2 カメラの設置	16

2.1 カメラの機能

本商品は、PoE 対応、本格的バレット型、定点モニタリングに最適なネットワークカメラです。高解像度 HD にも対応しています。

夜間や暗い部屋をモニタ

0 Luxでも撮影は可能ですので、夜間や暗い部屋の様子を確認できます。

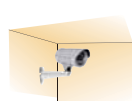
※ 屋内のみの利用になります。



壁面に設置して定点モニタ

スタンドのネジ穴を利用して壁面にネジで固定することができます。

※ 屋内のみの利用になります。



愛車を駐車場ごとモニタ

駐車スペースの様子を定期的に撮影し、自動車をモニタリングします。

保存した画像はパソコンで簡単に確認できます。

※ 屋内のみの利用になります。



店舗前の迷惑駐車モニタ

店内から定期的に店舗前の様子を撮影し、迷惑駐車がないかモニタリングができます。

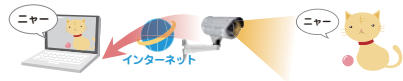
※ 屋内のみの利用になります。



留守宅の様子をモニタ

外出先から留守中のご自宅の様子を確認できます。外部マイク(※)で音声のモニタが可能です。

※ 外部マイクは別売りです。

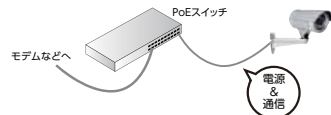


PoE でスッキリ配線

PoEで電源供給が可能なので、LANケーブルを接続するだけで利用でき、配線がスッキリします。

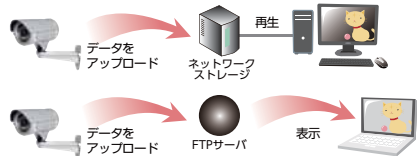
※ PoEを利用する場合は、PoEスイッチをご利用ください。

※ PoEを利用しない場合は、付属のACアダプタをご利用ください。

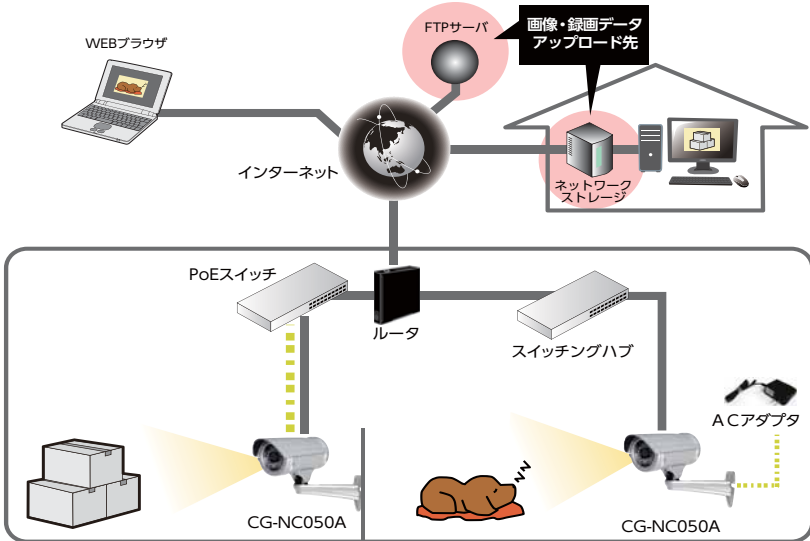


FTP サーバ・ネットワークストレージにアップロード

モーション検知時または設定したスケジュールとモーション検知の組み合わせで、外部のFTPサーバやネットワークストレージへアップロードすることができます。



次の図は、カメラを利用した一般的な利用シーンです



2.2 カメラの設置

以下の手順でカメラを取り付けます。



・本商品は訓練を受けた専門の技術者が設置してください。設置の際には、法令・条例などを遵守してください。

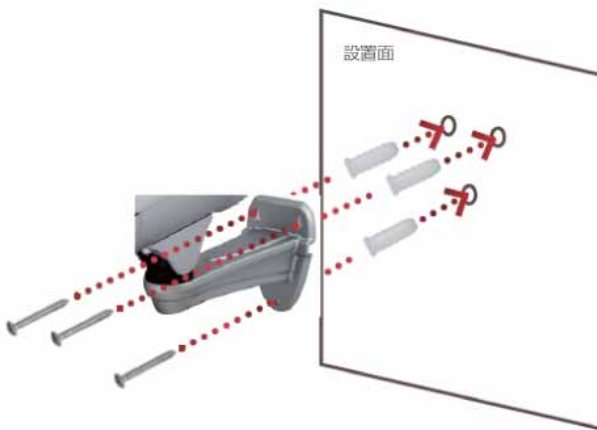
・設置の際は必ず電源を切ってください。AC アダプタを接続したり、PoE スイッチと接続したりしないでください。

・本商品（AC アダプタを含む）を弊社がマニュアル等で指示する以外の分解をしたり、改造しないでください。感電、けが、火災、故障の原因となります。

・設置の前にあらかじめご利用のネットワーク環境を確認いただくようお願いいたします。詳しくは第三章をご覧ください

2

①設置場所にスタンドの穴に合わせて3つの取り付け穴を開けます



②開けた穴にプラスチックのアンカーを打ち込みます

③3本のネジを使用して設置場所にカメラを設置します



・カメラとスタンドの接続部分とカメラの台座の下にある六角ネジ（1）を六角レンチを利用して緩めます。緩めた後、モニタリングしたい向きにカメラの位置を調整します（2）。

④本商品とネットワークケーブル（RJ-45 型）を接続します。

・ PoE（Power Over Ethernet）対応なので、PoE 対応スイッチから受電することができます。



- ・ 設置の際は必ず電源を切ってください。
- ・ PoE 受電する場合は、必ずカテゴリ 5 以上の LAN ケーブルをご利用ください。

第 3 章

カメラにアクセスする

この章では、本商品の便利な機能について説明しています。

3.1	本商品のネットワーク手順	20
3.2	お使いのネットワーク環境を確認する	21
3.3	設置環境に合わせて設定し、本商品の映像を確認する	26
3.4	実際に設置する環境にカメラを接続する	35

3.1 本商品のネットワーク手順

本商品の IP アドレスの初期値は DHCP による自動取得になっております。
また、DHCP による取得に失敗した場合には、192.168.0.30 に設定されます。

本商品をご利用環境にあわせて IP アドレスを固定して設定するためには以下の設定を行ってください。



ご利用のルータ (DHCP サーバ) 側で、カメラに割り当てる IP アドレスが解っている場合は、初期値の DHCP による自動取得のままご利用できます。その場合は、本設定は必要ありません。

3

■ 設定の流れ

3.1 : 本商品のネットワーク手順



3.2 : お使いのネットワーク環境を確認する

現在のネットワークの環境を確認します。この段階でカメラは接続しません。



3.3 : 設置環境に合わせて設定し、本商品の映像を確認する

3.2 で確認した内容に基づきカメラの設定を行います



3.4 : 実際に設置するネットワーク環境にカメラを接続する

3.2 お使いのネットワーク環境を確認する

本商品をお使いのネットワークに接続するために、ネットワーク環境（IP アドレスやデフォルトゲートウェイなど）を確認します。ネットワーク環境は次の手順で確認します。インターネットに接続できる等、現在のご利用環境のままで確認してください。（カメラは一切接続しません）

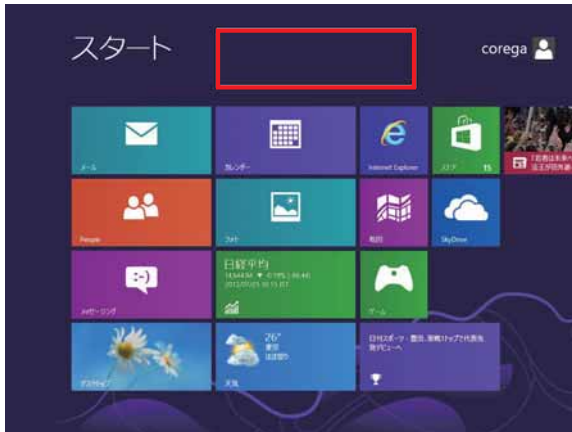
■ Windows の場合

1. コマンドプロンプトを起動します。ご利用の OS により確認方法が異なります。

Windows8 の場合

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、

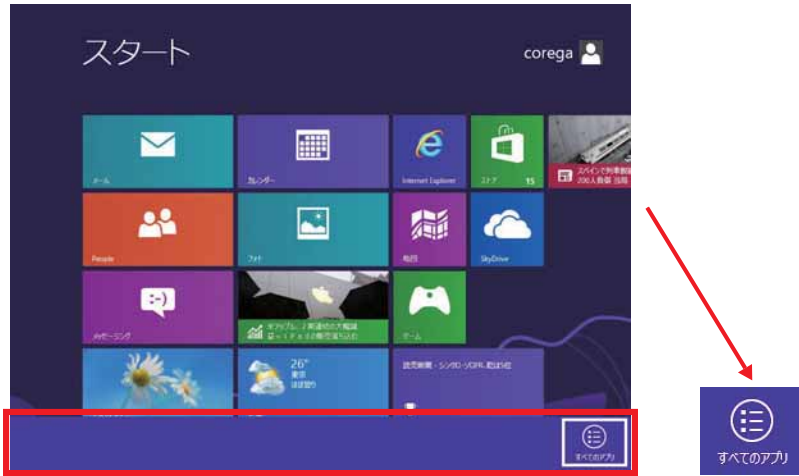
①アイコンがないところで右クリックします。



※ 上記の、【Modern UI】画面で無い場合はキーボードの Windows キーを押して切り替えます



②下から、メニューバーが表示されますので、左右のいずれかの端にある「すべてのアプリ」をクリックします。



3

③アプリから「コマンド プロンプト」をクリックします。



Windows7/Vista の場合

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、[スタート] – 「すべてのプログラム」 – 「アクセサリ」の順で開き、「コマンドプロンプト」の項目の上で右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。(「ユーザーアカウント制御」画面が出る場合は、「続行」をクリックします)

WindowsXP/2000 の場合

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、[スタート] – 「すべてのプログラム」(2000 の場合は「プログラム」) – 「アクセサリ」 – 「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

コマンドプロンプトが表示されましたら、以下に進んでください。以降は各 OS 共通です。

2. 黒いコマンドプロンプト画面が表示されましたら、
コマンドプロンプト上で、キーボードから「ipconfig /all」と入力して「Enter」キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>ipconfig
```

3. 内容を確認します。画面例の場合のネットワーク環境は次のとおりです。

本書では Windows8/Windows7/ Vista の画面を例に説明していますが、Windows XP/2000 でも同様の手順で確認できます。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:
   接続固有の DNS サフィックス . . . . :
   説明 . . . . . : Intel(R) 82566DC Gigabit Network Connecti
on
   物理アドレス . . . . . : 00-19-D1-7E-F1-C1
   DHCP 有効 . . . . . : いいえ
   自動構成有効 . . . . . : はい
   IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.0.3 (優先)
   サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.0.1
   DNS サーバー . . . . . : 192.168.0.1
   NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効
```

以下の内容を確認し、メモに控えます。

確認する項目	※XP/2000 の場合	確認したアドレス
IPv4 アドレス	IP Address	. . .
サブネットマスク	Subnet Mask	. . .
デフォルトゲートウェイ	Default Gateway	. . .
DNS サーバー	DNS Servers	. . .

詳細については各 OS のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

3

■ MacOS 10.7 の場合

1. 「アップルメニュー」⇒「システム環境設定」⇒「ネットワーク」をクリックします。
2. 左側のメニューから「Ethernet」を選択します。



3. 以下の内容を確認し、メモに控えます。

確認する項目	確認したアドレス
IPv4 アドレス	. . .
サブネットマスク	. . .
ルーター	. . .
DNS サーバー	. . .

詳細については各 OS のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

3.3 設置環境に合わせて設定し、本商品の映像を確認する

■ パソコン側の IP アドレスを固定する

設定に使用するパソコンの IP アドレスを一時的に固定します。

<設定例>

IP アドレス：192.168.0.123

サブネットマスク：255.255.255.0

上記の内容に固定します。

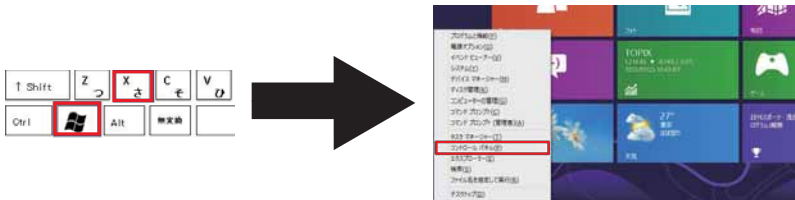
IP アドレスの固定方法は、各 OS の取扱説明書をご参照いただくか、下記の IP アドレス固定方法の内容を参照していただき設定を行ってください。

■ IP アドレスの固定方法

Windows8 の場合

1. 【Modern UI】画面で「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロール パネル」をクリックします。

※ 【Modern UI】画面で無い場合はキーボードの Windows キーを押して切り替えます。



2. コントロール パネルが表示されます。「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

※ 表示方法がアイコンの場合は「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. ネットワークと共有センターが表示されます。「アダプターの設定の変更」をクリックします。

4. ネットワーク接続が表示されます。「イーサネット」のアイコンを選択して右クリックし、表示された一覧から「プロパティ」をクリックします。
5. 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」の項目をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。
6. 以下「Windows 7/Vista の場合」の手順 5 からの手順と同様です。

Windows 7/Vista の場合

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークの状態とタスクの表示」を開いてください。(又は「ネットワークと共有センター」)
2. 画面左側の「アダプターの設定の変更」(Vista の場合は「ネットワーク接続の管理」)をクリックしてください。
3. 「ローカルエリア接続」を右クリックし「プロパティ」を開いてください。
4. 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」の項目をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。
5. ここで以下の内容を控えてください。(設定を元に戻す時に使用します)
 - ・チェックが「IP アドレスを自動的に取得する」「次の IP アドレスを使う」「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」「次の DNS サーバのアドレスを使う」のどれについているか
 - ・「次の IP アドレスを使う」にチェックがついている場合は IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値。
 - ・「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックがついている場合は優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバの値。

6. 「次の IP アドレスを使う」と「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックを入れ、次のように入力をしてください。

IP アドレス 192.168.0.123

サブネットマスク 255.255.255.0

7. 「OK」→「閉じる」で設定終了です。

※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 5 に控えた内容を設定します。

Windows XP/2000 の場合

1. 「スタート」→「コントロールパネル」を開きます。（2000 の場合は「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

2. 「コントロールパネル」から「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」を開きます。（2000 場合は「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックで開きます。）

3. 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

4. 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、青く反転表示させてから「プロパティ」をクリックします。

5. ここで以下内容を控えてください。（設定を元に戻す時に使用します）

・チェックが「IP アドレスを自動的に取得する」「次の IP アドレスを使う」「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」「次の DNS サーバのアドレスを使う」のどれについているか

- ・「次の IP アドレスを使う」にチェックがついている場合は IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値。
- ・「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックがついている場合は優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバの値。

6. 「次の IP アドレスを使う」と「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックを入れ、次のように入力をしてください。

IP アドレス 192.168.0.123

サブネットマスク 255.255.255.0

7. 「OK」→「閉じる」で設定終了です。

※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 5 に控えた内容を設定します。

Mac OS 10.7 の場合

1. 「アップルメニュー」⇒「システム環境設定」⇒「ネットワーク」をクリックします。

2. 左側のメニューから「Ethernet」を選択します。

2. ここで以下内容を控えてください。（設定を元に戻す時に使用します）

- ・ IPv4 の構成が「手入力」「DHCP サーバ参照」のいずれであるか
- ・ 「手入力」の場合は IP アドレス、サブネットマスク、ルータ、DNS サーバの値

4.IPv4 の構成で「手入力」を選択し、以下数値を設定します。

IP アドレス 192.168.0.123

サブネットマスク 255.255.255.0

5. 画面下の適用のボタンを押します。

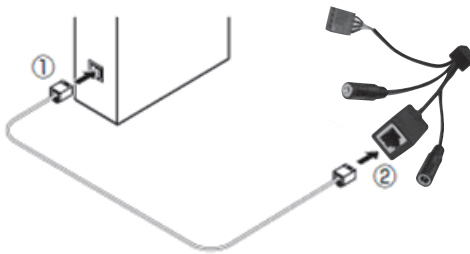
※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 3 に控えた内容を設定します。

■ カメラの設定を行う

設定に使用するパソコンを用意し、カメラと直接 LAN ケーブルで接続し設定を行います。

1.LAN ケーブルを接続します。

付属の LAN ケーブルの両端のコネクタの一方を①パソコンに接続し、もう一方を②本商品ケーブル先端部の LAN ポート (Ethernet) に接続します。



2. パソコンとカメラの電源を入れます。

3. ブラウザを開き（Windows の場合はインターネットエクスプローラ、MacOS の場合は Safari）アドレスバーに 192.168.0.30 を入力し [Enter] キー（又は [Return] キー）を押します。

4. ログインウィンドウが表示されたら、デフォルトのユーザー名（admin）とパスワード（admin）を入力して、[OK] を押します。



ユーザー名とパスワードを入力します。



注意

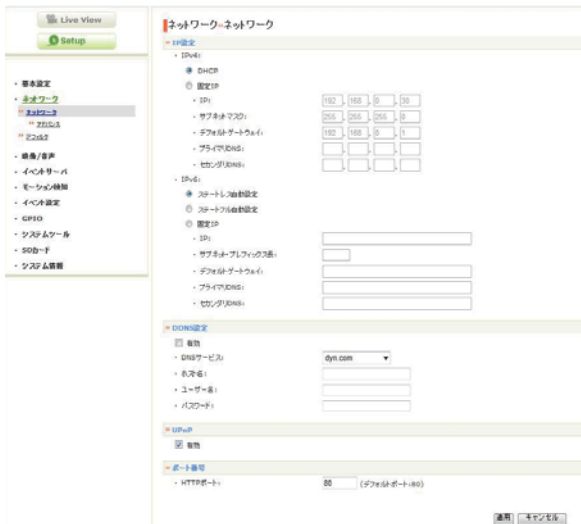
・最初にカメラにアクセスした際にはカメラのプラグインのインストールが要求される場合があります。画面が表示された場合には [はい] [OK] などをクリックしてインストールを実施してください。（表示される画面はご利用の OS により異なります）

カメラの映像が表示されることを確認してください。



3

5.Setup → ネットワーク→ネットワークの順にクリックし、固定 IP にチェックを入れて、「お使いのネットワーク環境を確認する」で確認した内容を反映し、設定を行います。



- ・ IP：確認した「IPv4 アドレス (IP アドレス・IP Address)」の値から、4 オクテット目 (IP アドレスの 4 つ目) を他で使用されていない数字に変更して設定します。
- ・ サブネットマスク：確認した「サブネットマスク (Subnet Mask)」の値を設定します。
- ・ デフォルトゲートウェイ：確認した「デフォルトゲートウェイ (Default Gateway・ルーター)」の値を設定します。
- ・ プライマリ DNS：確認した「DNS サーバ (DNS Servers)」の値を設定します。
- ・ セカンダリ DNS：空欄のままにします。

[設定例]

確認した内容が以下の場合

IPv4 アドレス：192.168.1.21

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ：192.168.1.1

DNS サーバ：192.168.1.1

カメラの設定内容は以下のように設定してください。

IP：192.168.1.245

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ：192.168.1.1

プライマリ DNS：192.168.1.1

セカンダリ DNS：空欄

設定完了後、画面下部の「適用」ボタンを押し、再起動のメッセージが出たら「OK」ボタンを押してください。システム再起動のメッセージがでますので、50 秒後にブラウザを閉じます。



本設定例では IP の 4 オクテット目を「245」にしています。本商品を複数台お使いになる場合は、2 台目以降の本商品には「246」、「247」…のように重複しない数値を設定してください。実際のご利用環境に合わせて同一ネットワーク内で絶対に重複しない番号に設定してください。



・変更した IP アドレスは必ずメモなどに控えておいてください。IP アドレスがわからなくなった場合、お客様のお手で本商品の設定や初期化を行うことができなくなります。

3

■ パソコンの IP アドレスを元に戻す

3-2 の「■ パソコン側の IP アドレスを固定する」手順を参照していただき、設定に使用したパソコンの IP アドレスを元の値に戻してください。

3.4 実際に設置する環境にカメラを接続する

ご利用のネットワーク環境にカメラを接続し、実際にネットワークに接続したパソコンからカメラに設定した IP アドレスでアクセスができるかを確認してください。



カメラを壁面などに固定する場合は、設定した IP アドレスでカメラの映像が表示される事を先に確認してから、設置することをお勧めいたします。

1. パソコンでブラウザを開き (Windows の場合はインターネットエクスプローラ、MacOS の場合は Safari) アドレスバーに **■** カメラの設定を行うの手順 5 で設定した IP アドレスを入力し [Enter] キー (又は [Return] キー) を押します。
2. ログインウィンドウが表示されたら、デフォルトのユーザー名 (admin) とパスワード (admin) を入力して、[OK] を押します。
3. カメラの映像が表示されることを確認してください。

カメラのWeb設定画面にログインした後、メイン画面が以下のように表示されます。



① Live View/Setup ボタン：

- ・ Live View ボタンをクリックして、カメラの映像を表示するメイン画面に戻ります
 - ・ Setup ボタンをクリックしてカメラの設定をします。
- 詳細については、第4章を参照してください。

②圧縮形式ボタン：

圧縮形式を、H.264、MPEG4、MJPEG の中から選択します。

③各種機能ボタン：

各種機能を利用するために、これらのボタンを使用します。

- ・ +PTZ 制御：カメラの ePTZ 機能を有効または無効にします。
有効になっているときは上 / 下 / 左 / 右 / ホームボタンを使用してカメラの画面を移動することができます。[ホーム] ボタンをクリックすると、割り当てられたホームポジションにカメラの画面が移動します。
- ・ 手動撮影：ビデオを録画し、保存することができます。
- ・ スナップショット：静止画を撮影して保存することができます。



Internet Explorer では、スナップショットまたは手動撮影で保存された録画ファイルを見つけれない場合があります。以下の手順で Internet Explorer のセキュリティの保護モードを無効にする必要があります（バージョンにより手順が異なる場合があります）

1. Internet Explorer ブラウザを開きます。
2. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
3. [セキュリティ] をクリックします。
4. 保護モードを有効] オプションを無効にし、[OK] をクリックします。

- ・保存先フォルダ指定：保存先のフォルダを割り当てることができます。
- ・聞く：カメラからの音声を聞くことができます。
- ※「聞く」のボタンは複数のユーザが同時に使用することはできません
- ・トリガー出力：GPIO のトリガー出力を ON/OFF します。



GPIO はサポート対象外です。

④カメラ画面：

接続されたカメラのリアルタイム映像を表示します。

- ・カメラ画面のウィンドウ上の以下のボタンをクリックしてデジタルズームの倍率を選択します。

 イメージをズームイン / アウトします

 画面の幅と高さを合わせます

 実際のサイズを表示します

 フルスクリーンモードで表示します



フルスクリーンモードから戻るには Esc キーを押します。

第 4 章

カメラを設定する

この章では、トラブルの対処法やよくある質問について説明しています。

カメラを設定する	39
4.1 Web 設定を使用する	40
4.2 基本設定	41
4.3 ネットワーク設定	44
4.4 映像、音声の設定	50
4.5 イベントサーバ設定	55
4.6 モーション検知	58
4.7 イベント設定	60
4.8 GPIO	66
4.9 システムツール	67
4.10 SD カード	69
4.11 システム情報	70

4.1 Web 設定を使用する

Web ブラウザを使用してカメラにアクセスし、管理をすることができます。

この章では、Web ブラウザを使用してカメラの設定を説明します。

カメラの設定をするには、Web 設定のメイン画面上で「Set up アイコン」をクリックします。クリックすると基本設定の画面に移動します



左側のメニューバーにカメラの設定に必要な項目が表示されます。
構成は、基本設定、ネットワーク、映像 / 音声、イベントサーバ、モーション検知、イベント設定、GPIO、システムツール、SD カード、システム情報 です

4.2 基本設定

基本設定には、システム設定、日付と時間、ユーザ設定のカメラのシステム設定をするための 3 つのサブメニューが含まれています。



■ 基本設定 >> システム設定

基本設定：

ネットワークカメラの名前を入力することができます。

- ネットワークカメラ名：

ネットワークカメラの名前を入力します。

- DirectShow をアクティブ X で有効化する：

DirectShow をアクティブ X で有効化する場合にチェックボックスをチェックします



[ネットワークカメラ名]は半角文字で入力してください。

■ 基本設定 >> 日付と時間

日付と時間

- 日付と時間：

カメラの日付と時刻を入力します。

- タイムゾーン：

プルダウンリストから地域と適切なタイムゾーンを選択します。

- コンピュータとの同期：

カメラの日付と時刻の設定を接続した PC と同期します。

- NTP との同期：

カメラの日付と時刻を NTP サーバと同期します。NTP サーバのアドレスを入力して、更新間隔を選択します。

- マニュアル：

手動で日付と時刻を設定します。



初期状態では NTP サーバアドレスは空欄です。カメラの時間を適切に設定するためには NTP サーバアドレスを指定するかコンピュータとの同期に設定するなどしてください。

■ 基本設定 >> ユーザ

管理者アカウント：

パスワードを設定し、確認するために 2 回、管理者パスワードを入力します。

カメラの Web 設定画面への不正アクセスを防ぐために、初期設定の管理者パスワードを変更することを強くお勧めします。



・ 変更した管理者パスワードは必ずメモなどに控えておいてください。管理者パスワードわからなくなった場合、お客様のお手で本商品の設定や初期化を行うことができません。

一般ユーザ

- ユーザー名：

カメラを使用するために追加したいユーザの名前を入力します。

- パスワード：

新しいユーザのパスワードを入力します。

入力したら、[追加 / 修正] をクリックします。

ユーザの情報を変更するにはユーザリストから選択して変更し、[追加 / 修正] をクリックします。

- ユーザリスト：

登録したカメラのユーザを表示します。

ユーザを削除するには、削除したいユーザを選択し、[削除] をクリックします。

ゲスト

- ユーザー名：

カメラを使用するために追加したいユーザの名前を入力します。

- パスワード：

新しいユーザのパスワードを入力します。

入力したら、[追加 / 修正] をクリックします。

ユーザの情報を変更するにはユーザリストから選択して変更し、[追加 / 修正]をクリックします。

- ユーザリスト：

登録したカメラのユーザを表示します。

ユーザを削除するには、削除したいユーザを選択し、[削除]をクリックします。



管理者：全ての設定が行えます

一般ユーザ：Live View 画面の操作が可能です。

(Set up は操作できません)

ゲスト：Live View での閲覧のみ可能です。

(一般ユーザとゲストで同じ名前を使用することはできません)

4.3 ネットワーク設定

ネットワークは、IP 設定、DDNS 設定、IP フィルタなどのカメラのネットワーク設定するための 2 つのサブメニューが含まれています。

■ ネットワーク >> ネットワーク

IP 設定：

・IPv4

IP アドレスのモードを選択し、関連する項目を設定することができます。

- DHCP（初期値）：DHCP サーバから IP アドレスを割り当てさせる場合に選択します。カメラの起動時に、DHCP サーバから IP アドレスが割り当てられます。
- 固定 IP：カメラの IP アドレスを直接割り当てます。



・変更した IP アドレスは必ずメモなどに控えておいてください。IP アドレスがわからなくなった場合、お客様のお手元で本商品の設定や初期化を行うことができなくなります。

IP	カメラの IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	カメラのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	カメラのデフォルトゲートウェイを入力します。 ルータがある環境ではルータの LAN 側 IP アドレスの値を設定してください
プライマリ / セカンダリ DNS	DNS サーバアドレスを指定します。ご利用の環境に合わせて設定してください。ルータがある環境ではルータの LAN 側 IP アドレスの値を設定するのが一般的です。

・ IPv6

IPv6 環境をサポートしている場合は次の項目を設定することができます。

- ステートレス自動設定：小規模なネットワークや個人向けに適した設定になります。IPv6 ルータが送信するプリフィックス情報を元に、本機側で IPv6 アドレスを自動生成します。
- ステートフル自動設定：管理者が管理をする必要がある設定になります。DHCPv6 サーバがネットワーク上に設置されている場合で、IPv6 アドレスは DHCPv6 サーバから取得します。
- 固定 IP：カメラの IP アドレスを直接割り当てます



・ 変更した IP アドレスは必ずメモなどに控えておいてください。IP アドレスがわからなくなった場合、お客様のお手で本商品の設定や初期化を行うことができなくなります。

IP	カメラの IP アドレスを入力します。
サブネット・プレフィックス長	カメラのサブネット・プレフィックス長を入力します。
デフォルトゲートウェイ	カメラのデフォルトゲートウェイを入力します。
プライマリ / セカンダリ DNS	DNS サーバアドレスを指定します。ご利用の環境に合わせて設定してください。

DDNS の設定：

ダイナミック DNS 機能を使用すると、動的なインターネット IP アドレスに固定のホスト名とドメイン名を割り当てることができます。

-DDNS を設定するには：

1. この機能を有効にするには、[有効] オプションを選択します。
2. プルダウンリストから DNS サービスを選択します。
3. [ホスト名、ユーザー名、パスワード] ボックスに必要な情報を入力します。



本商品では以下の DDNS サービスが利用可能です。

Dyn

<http://dyn.com/>

No-ip.com

<http://www.noip.com/>

※DDNSサービスへの登録はお客様側で行っていただく必要があります。

サポートセンタでのご案内は行っておりません。

※URL は 2013 年 7 月現在です。変更になる可能性があります。

UPnP：（初期値：有効）

本商品は UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）に対応しています。

この機能を有効にするには、[有効] を選択します。

ポート番号

- HTTP ポート：

デフォルトの HTTP ポートは 80 です。

ネットワーク >> アドバンス

HTTPS

- 有効 :

HTTPS を有効にするには、チェックボックスをチェックします。(初期値：有効)



HTTPS でアクセスした場合にセキュリティの警告画面が出る場合がありますが、そのまま「はい」で進んで問題ありません。

- HTTPS ポート :

テキストボックスに HTTPS ポート番号を割り当てます。

初期値は 443 です。



HTTPS では Set up のみ行うことができます。Live View は使用できません

-Bonjour

Bonjour プロトコルを使用する場合に設定します。Safari にて利用できます。(初期値：有効)

- フレンドリー名称

テキストボックスにフレンドリー名称を入力します。初期値は空欄です。

RTSP

-RTSP ストリーム：

ストリーミングデータの送信を設定するには認証方式を選択します。

設定しない場合は無効にします。RTSP ポートの初期値は 554 です。

-QoS：

QoS を有効にするにはチェックボックスをチェックします。



RTSP に対応したメディアプレーヤーソフトなどから、画像の閲覧をすることができます。

RTSP で使用する際の URL は以下になります。

・ H.264

rtsp:// (カメラの IP アドレス) /h264

・ MPEG4

rtsp:// (カメラの IP アドレス) /mpeg4

・ MJPEG

rtsp:// (カメラの IP アドレス) /mjpeg

※ 外部からの閲覧の場合、カメラの IP アドレスはルータの WAN 側 IP アドレスや DDNS のドメイン名になります。

■ ネットワーク >> IP フィルタ

カメラにアクセスするユーザを特定の範囲内の IP アドレスを設定して許可したり、拒否をする設定をします。

無効：(初期値)

IP フィルタ機能を無効にする際に選択します。

許可：

- IPv4：開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力することによって、カメラへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を割り当てます。
入力したら、設定を保存するために [追加] をクリックします。

複数の IP アドレス範囲を割り当てることもできます。

たとえば、開始 IP に 192.168.0.50 と入力し、終了 IP に 192.168.0.80 と入力すると 192.168.0.50 ～ 192.168.0.80 の範囲の IP アドレスは、カメラへのアクセスを許可されます。

- IPv6：カメラへのアクセスを許可する IP アドレスを入力してください。

拒否：

- IPv4：開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力することによって、カメラへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を割り当てます。
入力したら、設定を保存するために [追加] をクリックします。

複数の IP アドレス範囲を割り当てることもできます。

たとえば、開始 IP に 192.168.0.50 と入力し、終了 IP に 192.168.0.80 と入力すると 192.168.0.50 ～ 192.168.0.80 の範囲の IP アドレスは、カメラへのアクセスを拒否されます。

- IPv6：カメラへのアクセスを拒否する IP アドレスを入力してください。



許可と拒否を同時に使用することはできません。
チェックボックスのチェックが入っている項目の設定が動作します。

4.4 映像、音声の設定

映像 / 音声の設定には、映像と音声を設定する 5 つのサブメニューが含まれています。



■ 映像 & 音声設定 >> カメラ

イメージ設定

- 反転表示：縦方向に画像を反転表示させるには [上下反転] を選択します
水平に画像を反転表示させるには [左右反転] を選択します
- 照明の周波数：カメラの位置に応じて [50Hz] または [60Hz] から選択します
(初期値：60Hz)
- 赤外線 LED：赤外線 LED の設定を [自動設定]、[ON]、[常時 OFF] から選択
します (初期値：自動設定)

■ 映像 & 音声設定 >> ISP (画像信号処理)

ISP (ImageSignalProcessing) 制御をすることにより、画像を微調整することができます。

- カスタムテンプレート：ビデオの画質を微調整するために 3 つのテンプレートから選択します。カメラのモニタリングする場所に応じて [屋内]、[屋内低光]、[アウトドア] から適切なテンプレートを選択します。(初期値：アウトドア)

露光制御："露光"はカメラで画像を記録する際にイメージセンサに映している光のことです。カメラの画質を向上させるために露光制御をする場合は、本項目の設定を使用します。

- 目標輝度値：0～255の値からスライドバーを移動して調整します。初期値は55です。周辺の明るさの条件に依存します
- オフセット（補正）：画像の明るさを調整する際に使用します。0～255の値からスライドバーを移動して調整します。初期値は20です。
- ゲイン：センサーからの信号の増幅を制御します。バックグラウンドノイズを含む全信号を増幅します。1X～32Xの値からスライドバーを移動して調整します。初期値は32Xです。
- シャッター速度：シャッター速度を設定します。シャッター速度が遅いと画像の記録に失敗する可能性があります。
- ホワイトバランス：いろいろな照明の環境内にある色差を補正するために使用します。

モード：

- オート（初期値）：自動的にホワイトバランスを調整します。
- マニュアル：レッドゲインとブルーゲインを0～255の値からスライドバーを移動して調整します。初期値はともに64です。

画像調整

- 照度：0～100からスライドバーを移動して照度を調整します。初期値は50です。
- コントラスト：0～100からスライドバーを移動してコントラストを調整します。初期値は50です。
- 彩度：0～100からスライドバーを移動し彩度を調整します。初期値は50です。

ノイズリダクション：

カメラのノイズ除去機能を有効にするには[有効]を選択します。

有効にすると、0～255から、Y / Cbの / Crのノイズ強度をスライドバーを移動して調整します。初期値は全て10です。

- インパルス除去

インパルスノイズを低減するには[有効]を選択します。

エッジ強調：

エッジを強調する場合は、[有効]のチェックボックスをチェックします。

有効にすると、ウィンドウ（0～127）と強さ（0～128）の値をスライドバーを移動して調整します。初期値はともに120です

設定を保存するには、[適用]をクリックします。

設定を初期値に復元するには [デフォルト] をクリックします。

■ 映像&音声設定 >> 映像

● H.264（初期値：1280×720、高い、30fps）

- ビデオ解像度：以下の解像度を選択します。[1280×800]、[1280×720]、[704×576]、[704×480]、[640×480]、[352×288]、[352×240]、[320×240]、[176×144]、[160×120]

- ビデオ品質：

5つのレベルから画質を選択します。[最低]、[低い]、[普通]、[高い]、[最高]

- フレームレート：

ネットワークの状態に応じて適切な設定を選択します。

● MPEG4（初期値：640×480、普通、30fps）

- ビデオ解像度：

以下の解像度を選択します。[1280×800]、[1280×720]、[704×576]、[704×480]、[640×480]、[352×288]、[352×240]、[320×240]、[176×144]、[160×120]

- ビデオ品質：

5つのレベルから画質を選択します。[最低]、[低い]、[普通]、[高い]、[最高]

- フレームレート：

ネットワークの状態に応じて適切な設定を選択します。

● MJPEG（初期値：640×480、普通、30fps）

- ビデオ解像度：以下の解像度を選択します。[1280×800]、[1280×720]、[704×576]、[704×480]、[640×480]、[352×288]、[352×240]、[320×240]、[176×144]、[160×120]

- ビデオ品質：

5つのレベルから画質を選択します。[最低]、[低い]、[普通]、[高い]、[最高]

- フレームレート :

ネットワークの状態に応じて適切な設定を選択します。

- IE 以外で視聴の場合 : (初期値 : Java アプレット)

次のいずれかから選択します。[Java アプレット]、[静止画]、[サーバープッシュ]



ネットワークの負荷を低下させたい場合は、解像度とフレームレートを低く設定してください

■ 映像&音声設定 >> 音声

マイク入力 :

- 外部マイクを接続したカメラから音声を受け取る場合は [有効] をチェックします。

- 音量 : 音量を設定することができます。初期値は 86 です。

- RTSP 音声フォーマット

RTSP 音声を使用するための適切なオーディオ形式を選択します

G.711 U-Law : ビットレートは 64 kbps です。

GSM-AMR : ビットレートは 4.75 ~ 12.2 kbps です。

■ 映像&音声設定 >> 画像 / 文字合成

画像、文字設定とカメラのマスク機能を設定するために使用します。

プライバシーマスク :

2 つのマスク領域を設定することができます。

ウィンドウのプルダウンリストからエリア 1 または 2 を選択し [有効] をクリックします。

マウスをドラッグして、領域のサイズと位置を変更することができます

また、カラーボックスをクリックして、色を選択することにより、マスク領域の色を変更することができます。

完了したら、[保存] をクリックします。[Live View] をクリックしたときに、Live View 画面上にマスクした領域を見ることができます。

■ 映像&音声設定 >> 画像 / 文字合成 >> 文字合成

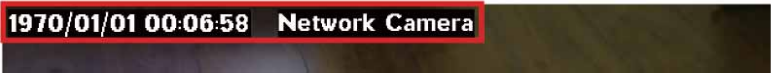
[日付と時刻を含める]、[文字列の合成]、[日付と時間を不透明化]：次の3つの文字合成機能を設定します。

日付と時刻を含める：Live View 画面上に日付と時刻の情報を表示するには、この機能を選択します。

文字列の合成：Live View 上にテキスト情報を表示するには、この機能を選択し、入力欄に見出しテキストを入力します。

日付と時間を不透明化：文字合成テキストに背景色を表示するには、このオプションを選択します。

たとえば、[日付と時間を含める]、[文字列の合成] を選択して適用をクリックして、[Live View] のボタンをクリックすると、Live View 画面上に表示された関連情報を見ることができます。



1970/01/01 00:06:58 Network Camera

※ 画像はイメージです

4.5 イベントサーバ設定

イベントサーバ設定では、[HTTP]、[FTP サーバ]、[Email][NAS] の4つのサブメニューが含まれています。

必要な設定が完了したら設定が正しいかどうかテストするため [テスト] をクリックします。

カメラがサーバーへの接続に成功したら [適用] をクリックします。

■ イベントサーバ設定 >> HTTP

イベントサーバ > HTTP

HTTP サーバを設定するオプションを使用します。有効にすると、モーション検知時や WANIP の変更などなんらかのイベントに対して HTTP サービス経由でアラートメッセージを送信することができます。

- ホスト：HTTP サーバの HTTP アドレスを入力します。
- ポート番号：HTTP ポートを入力します。デフォルトの HTTP ポートは 80 です。
- ユーザー名：HTTP サーバにログインするためのユーザー名を入力します。
- パスワード：HTTP サーバにログインするためのパスワードを入力します。
- クエリ：クエリ文字列は、Web アプリケーション（たとえば、CGI プログラム）に渡されるデータが含まれている URL の一部です。

設定を確認する場合は [テスト] をクリックします。

設定を保存するには、[適用] をクリックします。

■ イベントサーバ設定 >> FTP サーバ

FTP サーバ

- ホストアドレス：FTP サーバの IP アドレスを入力します。
- ポート番号：FTP サーバに使用するポート番号を入力します。
- ユーザー名：FTP サーバにログインするためのユーザー名を入力します。
- パスワード：FTP サーバにログインするためのパスワードを入力します。
- ディレクトリパス：画像をアップロードするための保存先フォルダを入力します。
例：/test/.

- Passive モード：Passive モードを有効にするには、[有効] を選択します。

■ イベントサーバ設定 >> Email

Email

- SMTP サーバーアドレス：

SMTP サーバーのアドレスを入力します。

- 送信元メールアドレス：

送信元のユーザーのメールアドレスを入力します。

- SMTP ポート番号：

テキストボックスに SMTP ポート番号を割り当てます。

SMTP ポート番号の初期値は 25 です。

メールサーバが暗号化された接続が必要な場合は、SSL オプション、STARTTLS をチェックする必要があります。

- 認証モード：

メールサーバの構成に応じて [無効] または [SMTP 認証] を選択します。

- ユーザ名：

メールサーバにログインするためのユーザ名を入力します。

- パスワード：

メールサーバにログインするためのパスワードを入力します。

- 送信先メールアドレス 1：

送信先のメールアドレスを入力します。

- 送信先メールアドレス 2：

送信先の 2 つ目のメールアドレスを入力します。

■ イベントサーバ設定 >>NAS

NAS

- Samba サーバアドレス：Samba サーバの IP アドレスを入力します。
- 共有名：Samba サーバ上のフォルダを割り当てます。
- パス：Samba サーバにファイルをアップロードするためのパスを割り当てます。
- ユーザー名：Samba サーバにログインするためのユーザー名を入力します。

AnonymousFTP（匿名 FTP）で利用する場合は [Anonymous] をチェックします

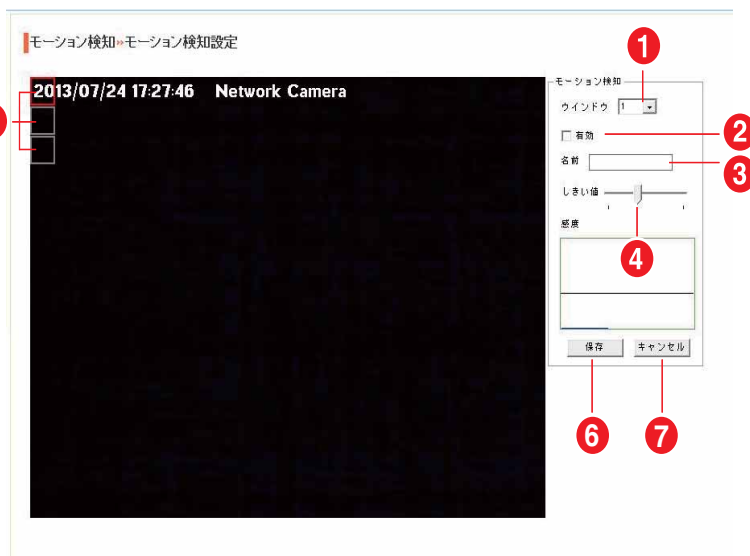
- パスワード：Samba サーバにログインするためのパスワードを入力します。

4.6 モーション検知

モーション検知設定では、カメラのモーション検知機能を設定することができます。カメラは、3つの検出領域を提供します。

検知領域を有効にするには、[有効]を選択後、プルダウンリストから[ウィンドウ 1/2/3]を選択します。

検知領域が有効になっているときは、マウスで検知領域を動かして領域を変更することができます。



① ウィンドウ

モーション検知するウィンドウ（領域）を選択します。

② 有効

選択したウィンドウ（領域）でモーション検知する場合に「有効」にチェックを付けます（初期値：無効）。

③ 名前

選択したウィンドウ（領域）に名前を付けます（初期値：Window 1/2/3）。

④ しきい値

モーション検知の感度を設定します。「感度」で映像の感度を確認して、「動作検知レベル」でモーション検知するしきい値を設定します。



しきい値バーをグラフが越えると「検知」となります。しきい値バーを右にスライドすると、動作検知の感度が低下します。しきい値バーを左にスライドすると、動作検知の感度が増加します。実際の被写体に合わせて調整してください。

⑤ ウィンドウ 1 /ウィンドウ 2 /ウィンドウ 3

モーション検知するウィンドウ（領域）の大きさや位置を設定します。

現在選択されているウィンドウ（領域）は赤い枠で表示されます。ウィンドウ（領域）は最大 3 つまで設定できます。

⑥ [保存]

設定した内容を保存します。

⑦ [キャンセル]

[保存] をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

4.7 イベント設定

[イベント設定] メニューには、カメラの画像を録画撮影するためのサブメニューが含まれています。



■ イベント設定 >> 一般設定

ストレージ

- ファイル保存時のサブフォルダ名：

ファイルを保存する際のサブフォルダ名を割り当てることができます。
サブフォルダを設定しない場合は、この項目は空白のままにします。

- ストレージコントロール：

リサイクル

- 最も古いフォルダから削除：ストレージの空き容量が足りなくなった際に最も古いフォルダから削除します。

- 最大保存容量：ストレージの保存容量を設定します。デフォルト設定は 10 GB です。

イベントアタッチメント

イベント発生後の動作を選択します。

- スナップショット：

スナップショットを撮影します

- ビデオ録画：

録画する画像の形式を [H.264]、[MPEG4] のいずれかを選択します。

イベント前録画時間を (0 ～ 5 秒) の範囲から選択します。

イベント後録画時間を (0 ～ 5 秒) の範囲から選択します。

GPIO 出力

- イベント毎の GPIO トリガー出力継続時間

イベント毎の GPIO トリガー出力継続時間を設定します。初期値は 10 秒です。



GPIO はサポート対象外です。

設定が完了したら [適用] をクリックします。

■ イベント設定 >> スケジュール設定

スケジュール設定：

このメニューでは、スケジュール設定を表示します。

プロファイル名を入力するには [追加] をクリックしダイアログウィンドウのプロファイル名を入力します

プロファイル名を入力したら [OK] をクリックします。プロファイルがスケジュールプロファイルリストに追加されます。

プロファイルを削除するには、リストからプロファイルを選択して [削除] をクリックします。

- プロファイル名：

[スケジュール] のプロファイルリストで選択したプロファイル名を表示します。

- 曜日：

スケジュールプロファイルに割り当てたい曜日（複数可）を選択します。

割り当てられた曜日は緑色で表示されます。

- 時間リスト：

選択した曜日の中で割り当てた時間帯を表示します。

全て同じ時間帯を割り当てするには、[全ての曜日にコピーする] をクリックします。

全ての曜日から削除するには [全ての曜日から削除する] をクリックします。

選択した時間帯を削除する場合は、[削除] をクリックします。

- 開始時間と終了時間：

開始時刻と終了時刻を入力し、選択した曜日に期間を選択し [追加] をクリックします。

設定が完了したら [適用] をクリックします。

■ イベント設定 >> モーショントリガー

モーショントリガー：

モーション検知を行うスケジュールおよび検知時の動作を設定する機能です。モーショントリガー機能を有効にするには、[有効] をチェックします。この機能を利用するためには、「イベントサーバ」および「モーション検知」の設定をあらかじめしておく必要があります。

- スケジュール設定：

プルダウンリストからスケジュール設定を選択します。

- 間隔

動作の間隔を入力します。（初期値：10 秒）

- ファイル名のプレフィックス

生成されるファイルの先頭につけるファイル名を設定します（初期値：motion）

- 動作設定：

カメラに行わせる動作を [トリガー出力]、[SD カードに保存する]、[NAS に記録する]、[Email 送信]、[FTP アップロード]、[HTTP Notify] から選択します。



SD カードはサポート対象外です。

設定が完了したら [適用] をクリックします。

■ イベント設定 >> 入力トリガー

トリガーインを有効にする：

GPIO のトリガー入力機能を有効にするには [有効] をチェックします。この機能を利用するためには、イベントサーバの設定をあらかじめしておく必要があります。



GPIO はサポート対象外です。

- スケジュール設定：

プルダウンリストからスケジュール設定を選択します。

- 間隔：

動作の間隔を入力します。(初期値：10 秒)

- ファイル名のプレフィックス：

生成されるファイルの先頭につけるファイル名を設定します (初期値：input)

- 動作設定：

カメラに行わせる動作を [トリガー出力]、[SD カードに保存する]、[NAS に記録する]、[Email 送信]、[FTP アップロード]、[HTTP Notify] から選択します。



SD カードはサポート対象外です。

設定が完了したら [適用] をクリックします。

■ イベント設定 >> HTTP トリガー

有効：

HTTP トリガーを有効にするには、[有効] をチェックします。この機能を利用するためには、イベントサーバの設定をあらかじめしておく必要があります。

認証方式：

カメラにアクセスする際に認証を行う場合はこの項目ををチェックします。

- スケジュール設定：

プルダウンリストからスケジュール設定を選択します。

- 間隔：

動作の間隔を入力します。(初期値：10 秒)

- ファイル名のプレフィックス：

生成されるファイルの先頭につけるファイル名を設定します (初期値：http)



http:// (カメラの IP アドレス) /cgi/httptrigger.cgi
へアクセスすることで Http トリガーが動作します。

- 動作設定 :

カメラに行わせる動作を [トリガー出力]、[SD カードに保存する]、[NAS に記録する]、[Email 送信]、[FTP アップロード]、[HTTP Notify] から選択します。



SD カードはサポート対象外です。

設定が完了したら [適用] をクリックします。

■ イベント設定 >> SD カード



SD カードはサポート対象外です。

■ イベント設定 >> ステータス表示

カメラの状態を通知する機能を有効にすることができます。

この機能を利用するには、対応する設定 (HTTP サーバーやメールサーバーなど) を構成する必要があります。

- ステータス表示 :

送信するステータスを次の中からチェックします。[WAN の IP アドレスが変更されました]、[データ保存領域が不足しています]、[SD カードを認識できません]、[NAS を認識できません]、[SD カードのデータを読みません]、[NAS のデータを認識できません]

- 動作設定 :

HTTP Notify : HTTP サービスを介して送信します

Email 送信 : Email を送付します。

※ 両方選択することもできます。

4.8 GPIO



GPIO はサポート対象外です。

入力設定：
GPIO ポートを通じて外部機器の信号の割り込み設定することができます。

高レベル	信号が高レベルのときに、トリガ機能が連続で有効になります。 信号が高レベルから低レベルになるときにトリガ機能が停止します。
低レベル	信号が低レベルのときに、トリガ機能が連続で有効になります。 信号が低レベルから高レベルになるときにトリガ機能が停止します。
エッジ上げ	信号が低レベルから高レベルになるときにのみトリガ機能が有効になります。
エッジ下げ	信号が高レベルから低レベルになるときにのみトリガ機能が有効になります。

4.9 システムツール

システムツールメニューでは、カメラを再起動したり、初期化するための設定が用意されています。

また、バックアップや復元、カメラのファームウェアアップデートをすることもできます。



■ システムツール >> システムツール

カメラの初期化：

カメラの設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻すには [初期化] をクリックします。

システム再起動：

カメラを再起動する場合は [再起動] をクリックします。カメラの設定は、再起動後も保持されます。

コンフィグレーション：

お使いの PC にバックアップファイルとしてカメラの設定を保存することができます。バックアップファイルを保存しておけば設定を復元することができます。

- バックアップ：

カメラの現在の設定を保存します。[保存] をクリックしてダウンロードします。

- 読み込み :

保存したバックアップファイルを復元する場合には [参照] をクリックしてファイルを指定し [読み込み] をクリックします。

ファームウェアを更新 :

カメラのファームウェアをアップデートすることができます。

- 現在のファームウェアバージョン :

現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

- ファームウェアを選択する。

ファームウェアファイルを検索する場合は [参照] をクリックしてファイルを指定して [更新] をクリックします。



ファームウェアの更新中は必ず AC 電源でカメラの電源がついていることを確認してください。

PoE で給電した状態でファームウェアアップデートを実行しないでください。

ファームウェアの更新中にカメラの電源が切れるとファームウェアの更新が失敗してカメラが故障する恐れがあります

4.10 SD カード



・ SD カード機能はサポート対象外の機能となります。

4.11 システム情報

システム情報には、現在の設定とカメラのイベントログが表示されます。



■ システム情報 >> デバイス情報

カメラの基本的な映像 & 音声オ、およびネットワーク設定を表示します。

■ システム情報 >> システムログ

ログテーブルには、システムによって記録されたイベントログを表示します。

付録

仕様一覧	72
保証と修理について	74
おことわり	75

仕様一覧

サポート規格	PoE	IEEE802.3af Power over Ethernet (PoE クラス 0)
	LAN	IEEE802.3u (100BASE-TX) /IEEE802.3 (10BASE-T) / IEEE802.3x (Flow Control)
取得承認		VCCI クラス A
インターフェース	Ethernet	RJ-45×1 ポート (MDI/MDI-X 自動認識)
	Mic In	3.5mm モノラルジャック
カメラ部仕様	センサ	1/4 インチカラー CMOS センサー
	画素数	0.92 メガピクセル (92 万画素)
	最低照度	ナイトモード : 0lux
	画角	対角線画角 : 70 度
	焦点距離	4.2mm
	絞り値 (F 値)	F1.6
	赤外線 LED	自動 /ON/OFF
	赤外線 LED 照射距離	最大 20m
	ズーム	-3 倍 ~ +3 倍
	ゲインコントロール	自動
	露出	自動
	ホワイトバランス	自動

ビデオ部仕様	画像圧縮方式	H.264/MPEG-4/MJPEG
	画像解像度 / フレーム転送速度 (※)	H.264 1280x720/ 最大 30fps 640x480 (VGA) / 最大 30fps 320x240 (QVGA) / 最大 30fps 160x120 (QQVGA) / 最大 30fps MPEG-4 1280x720/ 最大 30fps 640x480 (VGA) / 最大 30fps 320x240 (QVGA) / 最大 30fps 160x120 (QQVGA) / 最大 30fps MJPEG 1280x720/ 最大 30fps 640x480 (VGA) / 最大 30fps 320x240 (QVGA) / 最大 30fps 160x120 (QQVGA) / 最大 30fps
電源仕様 (AC アダプタ)	定格入力電圧	AC100V (50/60Hz)
	定格入力電流	500mA
最大消費電力		5.9W
環境条件	動作時	温度 0 ～ 40℃ / 湿度 20 ～ 85% (結露なきこと)
	保管時	温度 -15 ～ 60℃ / 湿度 5 ～ 90% (結露なきこと)
外形寸法		83 (W) × 200 (D) × 83 (H) mm 本体のみ (突起部を含まず)
質量		960g 本体のみ (スタンドキット含む)
パッケージ内容		CG-NC050A 本体 スタンド AC アダプタ (2 極 1.5m) LAN ケーブル (1.8m) 安全にお使いいただくためにお読みください 製品保証書 (1 年) ネジキット (鉄) × 3 ネジキット (プラスチック) × 3
動作環境		
対応パソコン		以下の環境を満たすパソコン
対応 OS		Windows8/7 (64bit/32bit) /Vista(32bit)/XP(32bit)/2000、Mac OS 10.7
推奨ブラウザ		Internet Explorer 6.0 以上、Safari
CPU		Intel Pentium III 800MHz 以上
メモリ		512MB 以上

※ 照明の周波数の設定が 50Hz の場合は最大 25fps となります。

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用了場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧ください、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- ・ 弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- ・ 修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- ・ 商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- ・ 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格、修理受付期間などが記載されていますのでご覧ください。

<http://corega.jp/repair/>

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性および特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書 (GNU General Public License)」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

■輸出管理と国外使用について

- ・ お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。
- ・ 弊社販売製品は、日本国内仕様であり日本国外においては、製品保証および品質保証の対象外になり製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

Copyright©2013 アライドテレシスホールディングス株式会社

corega は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

AirMac、Macintosh、Mac OS、Safari は、Apple Inc. の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

2013年8月 Rev.A

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

<http://corega.jp/>

■商品に関するご質問は…

商品についてご不明な点がある場合はコレガホームページの「よくあるお問い合わせ」をご覧ください。また、「故障かな？」と思った場合には「故障確認フロー」もありますのでご利用ください。

○よくあるお問い合わせ

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「よくあるお問い合わせ」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。

<http://corega.okbiz.okwave.jp/>

○保証サポート窓口（故障確認フロー）

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「保証・サポート窓口」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。

<http://corega.jp/support/inquiry/>

「修理・故障について」の項目内に「故障確認フロー」があります。

解決されない場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

<http://corega.okbiz.okwave.jp/>

電話 045-476-6268

〈受付時間〉

10：00～12：00、13：00～18：00

祝・祭日を除く月～金曜日、ただし事前にコレガホームページで案内する指定休業日は除きます。

※ 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※ サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。

This product is supported only in Japanese.

※ 電話が混み合っている場合は、メールサポートをご利用ください。

記載の内容は予告無く変更する場合があります。

最新情報はコレガホームページ（<http://corega.jp/>）をご覧ください。